県産未利用材の家具建具材としての応用研究

東　郷　信　王

1. 目　的

奄美大島産材を含む県産材の利用によって附加価値の向上と，その特性を充分に生かすと共に離島産業の振興を図る。

2. 概　要

イタジイ，モクマオ，イジュ，タブ，クロバイ，オキナワウラジロカシ，フカノキ，シマタゴ等の木材を対象に家具，建装用材としての利用面から見て表面化粧材，内部構造材とに大別し使用目的の適性等について研究試作するものである。

しかし問題となるのは材質であるが，大島産材の特長として乾燥中のヒビ割れと狂い，虫害である。したがってこれ等の悪条件を取除くことが第一条件である。現時点では建築材としての床柱，玄関柱等に表皮を取除いて研丸太柱として適している。

3. 結果及び考察

家具，建具，建装用材への利用問題は使用前の木材の管理つまり乾燥，防虫処理と利用部品材への適材適所の選定にある。したがって表面化粧材にはタブ，オキナワウラジロカシ，内部構造材に重量に関係のない製品にはイジュ，イタジイ，モクマオ，比較的に軽量な製品にはフカノキ，シマタゴ，クロバイ等とに別で使用するのが適当である。

壁面構成家具の研究と試作

東　郷　信　王
末　吉　光　雄

1. 目　的

近代建築の構成上住宅，オフィス等における装備器具壁面構成家具として，ユニット棚間仕切用システム家具の研究試作し，これと関連した金具によるジョイント方式の加工技術の研究を行う。

2. 概　要

前年に引続き研究試作を行なっているが，今回はシステム家具として壁面構成ユニット棚棚及び間仕切家具と併せて，コーナー家具としての利用も兼ね本体にジョイント金具を用いてサイズを標準化したフレーム，仕切板，棚板，裏板，台輪等の構造をユニットとして希望の形と間取に合せる。したがって必要に応じて容積を増減することができる。

3. 成果及び考察